

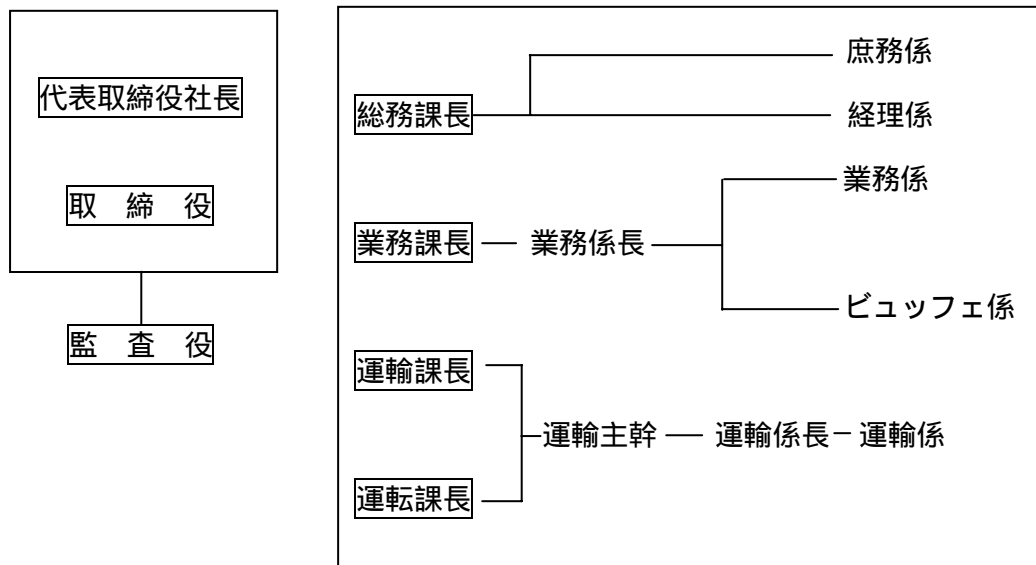
# 帆柱ケーブル株式会社

帆柱ケーブル株式会社は、鉄道事業法に基づく鋼索鉄道（ケーブル）事業を営んでいます。

〔設 立〕 昭和 32 年 3 月 1 日  
〔所 在 地〕 北九州市八幡東区大字尾倉 1481 番地の 1  
Tel 093 - 671 - 4761  
〔目 的〕 市の観光資源であり、自然と夜景が楽しめる皿倉山頂エリアへの交通手段の提供。  
〔事 業〕 鋼索鉄道（ケーブル）事業  
〔資 本 金〕 1,683,000 千円  
＜うち本市出資額 1,683,000 千円（100.0%）＞  
〔決 算 期〕 毎年 3 月 31 日  
〔主 務 官 庁〕 国土交通省九州運輸局  
〔本 市 所 管〕 経済文化局総務観光部観光課（Tel 093 - 582 - 2054）

## 1 法人の組織

### (1) 機構図



(2) 役職員数

	人数				平均年齢
		うち本市出向者	うち本市退職者	うちその他	
役員	12人	10人	1人	1人	57歳
職員	13人	0人	1人	12人	51歳

(3) 役員名

〔代表取締役〕 野崎 博

〔取締役〕 山口 彰、谷 史郎、南本 久精、柏木 修、南立 朝彦、奥竹 繁、  
奥尾 一雄、大庭 清明

〔監査役〕 奥 鶴雄、木村 健次、江本 均

2 事業の概要等

(1) 鋼索鉄道（ケーブル）

安全輸送の確保及び快適な輸送を中心としたサービスの提供  
観光振興事業（自主企画イベント）の展開  
観光客誘致のための広報活動

3 主な事業実績（平成17年度）

(1) 利用状況について

鋼索鉄道・索道事業（リフト）

前年度に引き続き「皿倉山桜まつり」、「皿倉山ワイワイキッズランド」（鯉のぼり大作戦）、「皿倉山七夕まつり」、「昆虫採集サマースクール」、「皿倉山灯籠まつり」、「皿倉山観月会」、「2005皿倉スタンプラリー」、「皿倉山秋の紅葉まつり」、「クリスマス大作戦」などのイベントを開催するとともに、夏季には夜間営業を実施しました。

また、平成17年度新規イベントとして「だるま落としと丸太切り大会」「龍山康朗さんと空を語ろう」を実施し、皿倉山の魅力を堪能する企画として「山桜大島桜鑑賞ツアー」、「皿倉山フォトウォーキング」、「冬景色を楽しむツアー」、「2006年の春をさがそう」等を開催しました。

これらのイベント等については、年間を通し市政だより、新聞、テレビ等の報道機関を活用し、広報、宣伝活動をこまめに行い集客に努めました。

その結果、鋼索鉄道事業では159,872人（前期比2.3%増）、索道事業では95,352人（前期比10.5%増）となりました。

営業収益は、鋼索鉄道事業では83百万円（前期比0.0%減）、索道事業では12百万円（前期比10.4%増）となりました。

なお、索道事業は、平成18年8月31日で廃止しました。

ホテル事業（国民宿舎山の上ホテル）

観光客の宿泊施設に対するニーズの多様化や、施設の老朽化も進んでいるが、集客イベントとして「おいしいアイガモ料理を食べよう」、「北九州皿倉泡盛会」、さらに山の上ホテルの廃止を控え3月21日に「山の上ホテル感謝祭」等を実施した結果、前期と比較すると、宿泊者は、3,945人（前期比3.1%増）、会議、休憩利用者1,402人（前期比34%増）となりました。

レストラン・宴会収入は3百万円増（前期比11.8%）だったが、固定費を賄う運営受託収入が前期比5百万円減となり、営業収益は、82百万円（前期比2.3%減）となりました。

なお、山の上ホテルは、平成18年3月31日で廃止となりました。

#### 4 市の関与の状況

（単位：千円）

区 分	平成16年度	平成17年度
出 資 金 の 状 況	1,683,000	1,683,000
補 助 金	0	0
委 託 料	92,509	86,666
貸 付 金 残 高	119,747	107,097

5 資産・収支の状況（平成 17 年度決算）

(1) 貸借対照表

平成 18 年 3 月 31 日現在（単位：円）

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	170,478,043	流動負債	47,135,488
現金・預金	132,680,477	買掛金	1,325,063
未収運賃	96,800	短期借入金	12,648,978
売掛金	2,696,112	未払金	15,158,599
商品	3,599,894	未払費用	8,100,000
貯蔵品	31,404,760	未払法人税等	2,715,000
		未払消費税等	1,536,300
固定資産	70,162,415	預り金	308,730
鋼索鉄道事業固定資産	69,257,457	賞与引当金	1,833,000
索道事業固定資産	776,113	その他	3,509,818
ホテル事業固定資産	70,757	固定負債	107,026,794
一般管理固定資産	6,718	長期借入金	94,448,994
投資その他の資産	51,370	退職給付引当金	12,577,800
出資金	10,000	負債合計	154,162,282
長期前払費用	41,370	(資本の部)	
		資本金	1,683,000,000
		利益剰余金	1,596,521,824
		当期末処理損失	1,596,521,824
		資本合計	86,478,176
資産合計	240,640,458	負債及び資本合計	240,640,458

## (2) 損益計算書

自 平成 17 年 4 月 1 日

至 平成 18 年 3 月 31 日 (単位: 円)

科 目		金 額		
経常損益の部	営業	鋼索鉄道事業 営業収益	83,089,657	
		営業費	112,766,675	
		営業損失	29,677,018	
	損	索道事業 営業収益	12,818,854	
		営業費	11,604,333	
		営業利益	1,214,521	
	益	ホテル事業 営業収益	82,646,524	
		営業費	79,262,823	
		営業利益	3,383,701	
		全事業営業損失	25,078,796	
	の部	営業外損益の部	営業外収益	2,181,384
			受取利息及び配当金	300
			雑収入	2,181,084
			営業外費用	487,794
支払利息			419,114	
雑損失			68,680	
	経常損失	23,385,206		
特別の部	特別損失	特別損失	1,115,976,124	
		減損損失	1,107,865,000	
		固定資産除去損	8,111,124	
税引前当期純損失		1,139,361,330		
法人税、住民税及び事業税		1,032,000		
当期純損失		1,140,393,330		
前期繰越損失		456,128,494		
当期末処理損失		1,596,521,824		